



## 12月定例議会

# 平成18年度一般会計・特別会計決算認定案 12件全てを可決承認す

# 武藤教育委員長退任に伴う 新教育委員に三浦陽一氏の任命に同意

●市議会十二月定例会が十二月四日から二十一日まで、十八日間の会期で開催された。

●十二月定例会には決算認定議案が上程されることから、決算議会とも言われている。

●市長提出議案は平成十八年度一般会計、特別会計の決算案十二件、条例の一部改正案八件、十九年度一般会計及び特別会計、企業会計の補正予算十二件、市道の認定・変更と公の施設の指定管理者の指定三件の計三十五件。決算は合併後、初めての通年決算で、一般・特別の会計歳入総計は三十四億九、七七六万円。

●一般質問は、今定例会から会派移行に伴い質問者数割当て制で行い、創成会二、政一会一、仁政クラブ三、翠鸞会二、共産党一の九氏が登壇した。

●五日間の各委員会での審査の後、二十一日の最終本会議で全議案を（一部議案は賛成多数で）可決・認定した。追加提案された教育委員の任命案は投票による採決の結果、賛成多数で同意された。

### 教育委員長 委員長職務代理者共に不在の異例に終止符

仙北市教育委員会は、昨年十一月二十五日から武藤委員長が任期満了により、十二月七日からは委員長職務代理者職も任期切れにより、二役職の不在となった。現職がいる内に新委員の任命をするのはどうかとの当局の思いから異例の事態が続いていたが、最終本会議の追加議案で、新教育委員・三浦陽一氏（五三）の任命案が提出され、投票による採決の結果十四対八の賛成多数で同意された。教育委員会では十二月二十六日に委員会を開催、委員長などの選任を行った。

### 市議会豪雨災害対策本部 要望活動を終え解散す

昨年九月十七日に市内を襲った豪雨は各地に甚大な被害をもたらした。市議会では九月二十日に市議会豪雨災害対策本部を設置して、災害復旧に向けて、市や県、県議会等に要望活動を行ってきた。市および県が災害復旧の予算措置をし、復旧工事に取りかかり始めたことで、十二月二十一日の最終本会議終了

## 教育委員会委員の職名・任期

職名	氏名 住所・年齢	任期
委員長	佐久間 健一 西木町小淵野(63歳)	自 平成17年11月25日 至 平成21年11月24日
委員長 職務代理者	千葉 勇 田沢湖田沢(65歳)	自 平成17年11月25日 至 平成20年11月24日
委員	安藤 満里 角館町上菅沢(52歳)	自 平成18年12月 5日 至 平成22年11月 4日
委員	三浦 陽一 田沢湖神代(53歳)	自 平成19年12月21日 至 平成23年12月20日
教育長	小林 一雄 角館町雲然(64歳)	自 平成17年11月25日 至 平成21年11月24日



12月21日開催の市議会災害対策本部会議



# 市民税・固定資産税の前納報奨金制度の廃止案 賛成多数で可決

## 公の施設の指定管理者指定にかたくり館を追加

### これまでに公の施設の指定 管理者の指定を行った施設一覧

- かたまえ山森林公園
- 西木山の幸資料館
- 仙北市民バス（中川及び下延八割線）
- 下延コミュニティセンター
- 八割コミュニティセンター
- 西木温泉ふれあいプラザ「クリオン」
- 角館西宮家
- 角館駅前広場観光振興施設
- 交流促進センター、交流滞在施設等
- 都市農村交流施設
- 角館中心市街地活性化支援センター
- 仙北市自然ふれあい温泉館
- 田沢湖観光情報センター
- 田沢湖キャンプ場
- 縄文の森交流広場
- 市民浴場「東風の湯」
- 活性化施設「かたくり館」（4月から）

後、対策本部会議を開し、要望活動の終了を確認し、対策本部を解散した。

**市税条例の一部改正で前納報奨金制度を廃止**

仙北市では固定資産税と市県民税（普通徴収分）を第一期の納期限内に、第四期までの全額を納付した場合、納付税額の〇・五％を報奨金として交付していたが、納税の公平性の確保を図るといふ面からこれを廃止する条例一部改正案が提出された。討論では「市税のさらなる滞納をまねくもの」との反対意見が出されたものの、採決の結果、十九対三の賛成多数で可決した。

### 公の施設の指定管理者の指定に「かたくり館」

公の施設の指定管理者の指定で、新たに市活性化施設「かたくり館」を西木町小山田の北小山田常会に指定管理する事を承認した。

仙北市の行政改革集中プランの中では、市の二十四施設を指定管理に移行する計画となっているが、これにより指定管理施設は二十五施設と当初計画以上の件数となった。

